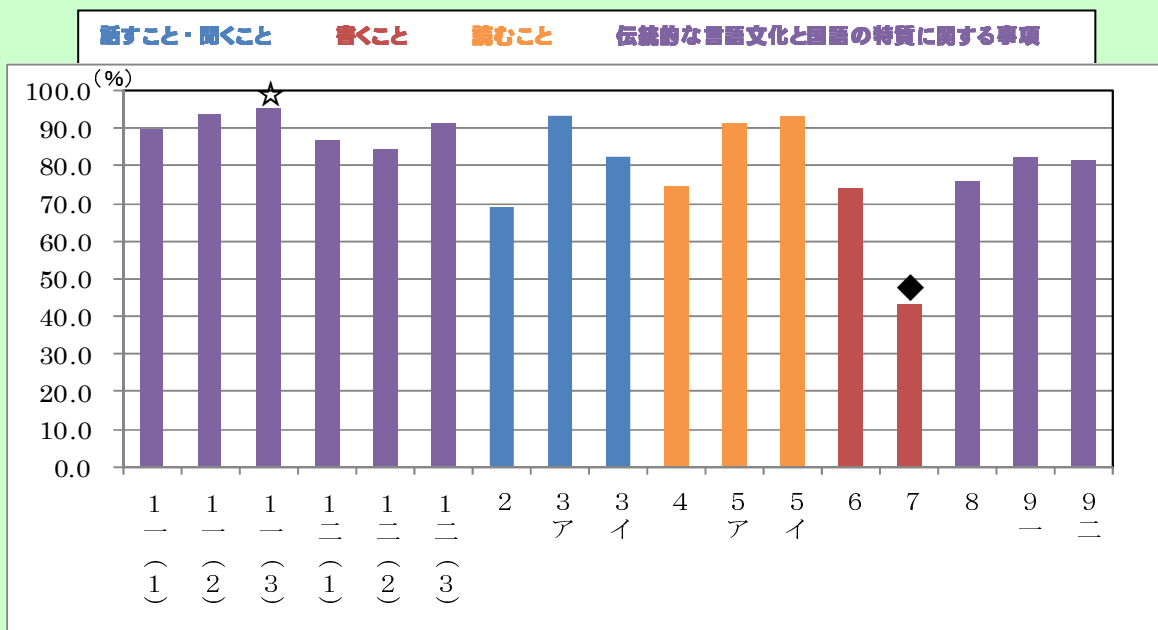


問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 1-3
 奈良県正答率 95.3%
 全国正答率 95.2%
 学習指導要領の領域等

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

評価の観点 言語についての知識・理解・技能
 問題形式 短答式

◆最も正答率の低い問題

設問番号 7
 奈良県正答率 43.3%
 全国正答率 43.2%
 学習指導要領の領域等

書くこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

評価の観点 国語への関心・意欲・態度、書く能力
 問題形式 短答式

1

一次の(1)から(3)までの文の——部の漢字の読みを、ひらがなでいてねいに書きましよう。

(1) 新しいビルを 建築 する。

(2) 親から 独立 してくらす。

(3) 参加することを 計 ず。

7

第三小学校の新聞委員の内山さんは、学校の合唱部が活やくしていることを学校新聞の記事に書くことにしました。「学校新聞の記事の一部」の□の中に、「取材した内容の一部」の①から④までを一文にまとめて書きましよう。書き出した言葉に続く内容を、(書き出しの言葉は、字数にはふくみません。)

【取材した内容の一部】

① 合唱コンクールの県大会が、七月一日に開かれた。
 ② そのコンクールに、第三小の合唱部が 出場した。
 ③ 第三小の合唱部は、そのコンクールで金賞に選ばれた。
 ④ 第三小の合唱部は、未月開かれる全国大会に 出場することになった。
 ～(メモが続く)～

【学校新聞の記事の一部】

第三小の歌声 全国へ
 県大会で金賞

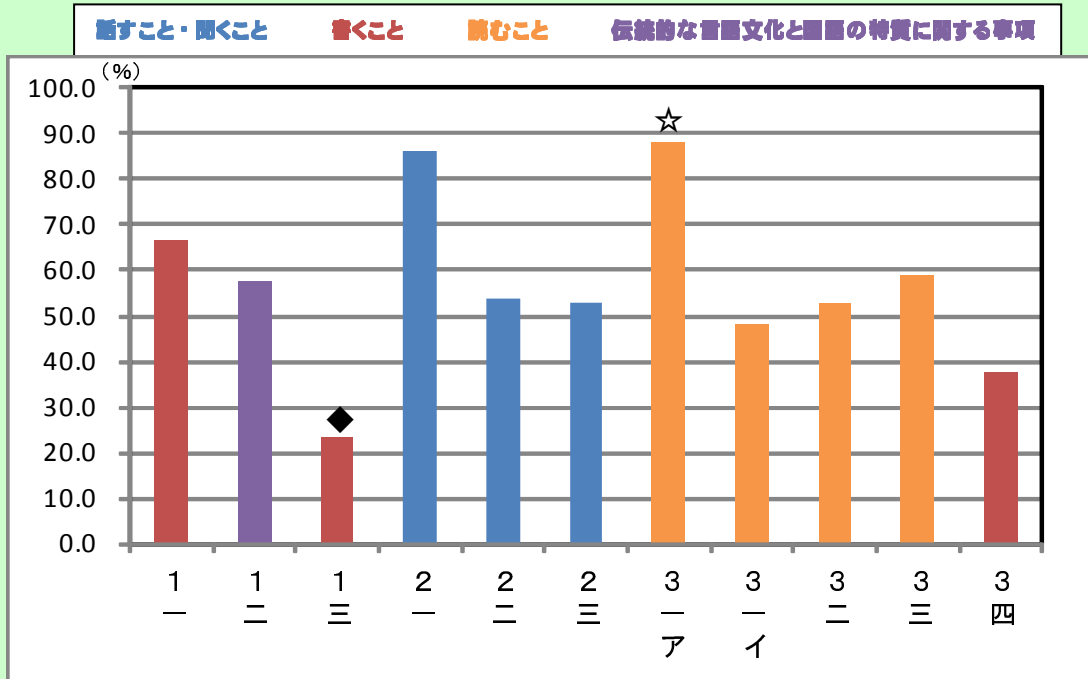
七月一日、合唱コンクールの県大会に 出場した本校合唱部が、

～(記事が続く)～

第三小☆学校新聞 平成24年7月号

漢字の読みと書きについてはおおむね理解することができる。目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書くことに課題がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 3 - ア
 奈良県正答率 88.1%
 全国正答率 87.3%
 学習指導要領の領域等

読むこと
 評価の観点
 読む能力
 問題形式
 選択式

「この雑誌や読んだ記事の特徴」

一 金子さんは、この雑誌や読んだ記事の特徴を次のようにとらえました。アとイの文の一部には、どのような内容が入りますか。アの文の一部に入る内容としてふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。また、イの文の中に入る内容としてふさわしい言葉を、記事の中からぬき出しましょう。

ア この雑誌は、
 1 毎日
 2 毎週
 3 毎月
 4 二か月に一回
 発行される。

イ 今回の特集は、「マラソン」であり、第1回で取り上げた主な内容は、
 に注目し、走るスピードや練習法などを記事にしている。

◆最も正答率の低い問題

設問番号 1 三
 奈良県正答率 23.6%
 全国正答率 23.5%
 学習指導要領の領域等

書くこと
 評価の観点
 書く能力
 問題形式
 選択式

三 平川さんは、手紙の後付けを書こうとしています。「手紙の下書き」の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。次の1から3まで

1 中央小学校 六年一組
 平川 春美

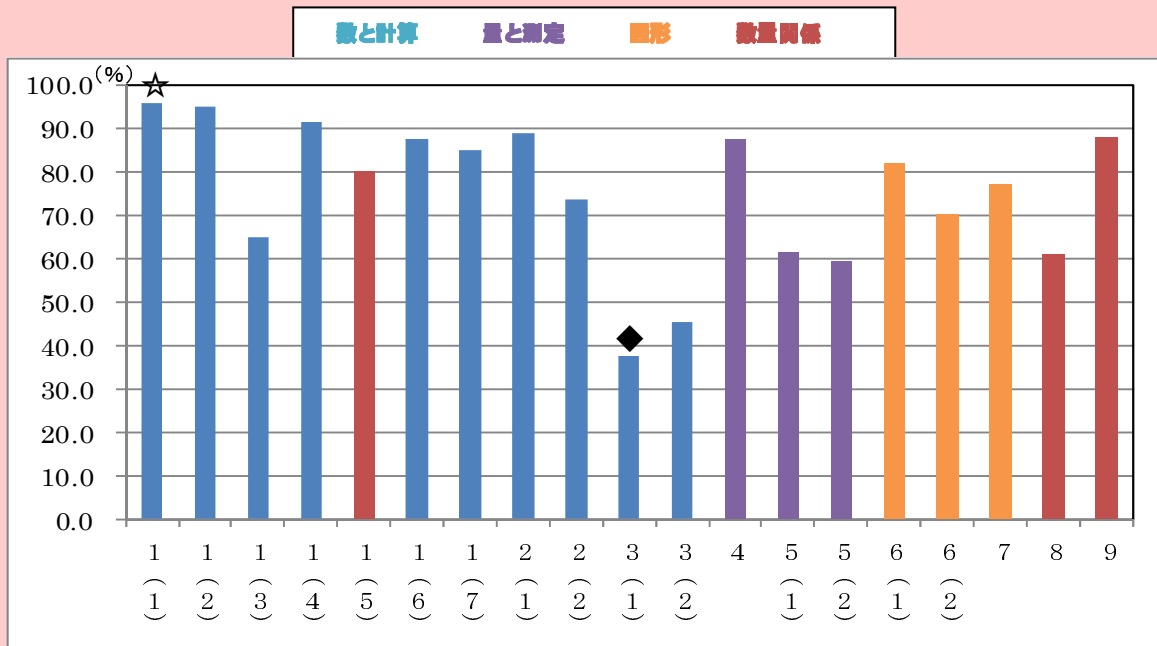
2 かがやきの森動物園
 園長 宮本 真一様

3 平成二十四年五月七日

ア

手紙の構成を理解し、後付けを書くことに課題がある。複数の情報を関連付けて読み、事実を基にして自分の考えを記述することに課題がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 1 (1)
 奈良県正答率 95.9%
 全国正答率 95.7%
 学習指導要領の領域

数と計算

評価の観点 数量や図形についての技能
 問題形式 短答式

1

次の計算をしましょう。

(1) $132 + 459$

(2) $148 \div 37$

(3) $4.6 - 0.21$

◆最も正答率の低い問題

設問番号 3 (1)
 奈良県正答率 37.5%
 全国正答率 34.0%
 学習指導要領の領域

数と計算

評価の観点 数量や図形についての知識・理解
 問題形式 選択式

3

赤いテープと白いテープの長さについて、次のことがわかっています。

赤いテープの長さは120 cmです。
 赤いテープの長さは、白いテープの長さの0.6倍です。

(1) 赤いテープと白いテープの長さの関係を正しく表している図はどれですか。
 次の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1

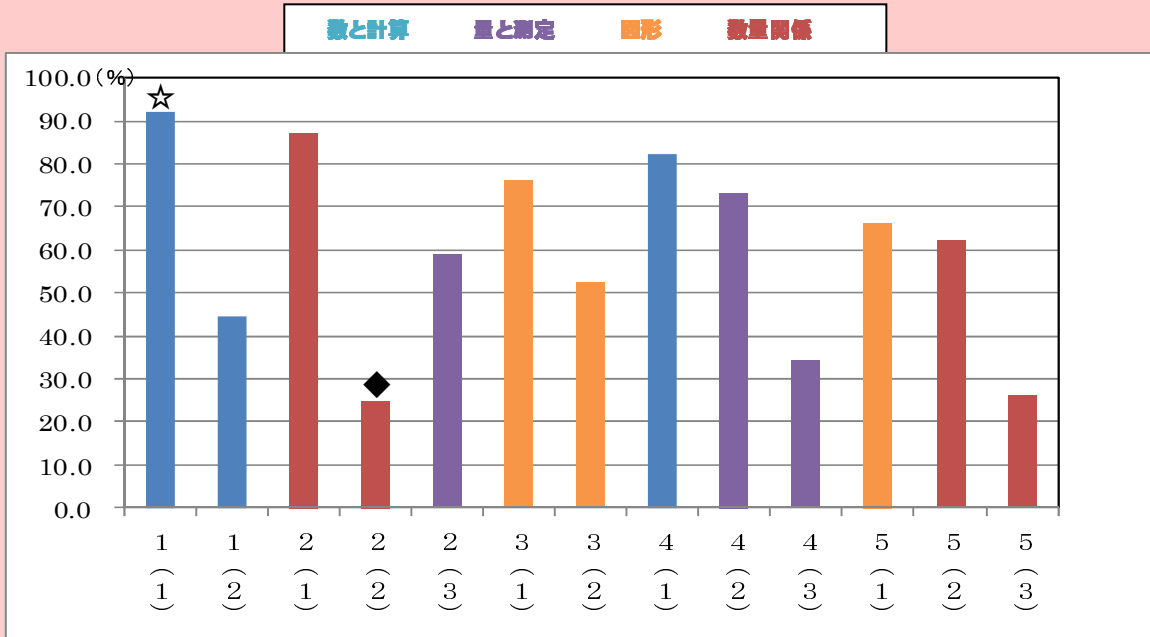
2

3

4

基準量を求める場面において、場面と図を関連付けて、示された割合を基に基準量と比較量の関係を理解したり、1に当たる大きさを求めるために除法が用いられることを理解したりすることに課題がある。繰り上がりのある計算等はおおむねできている。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 1 (1)
 奈良県正答率 92.2%
 全国正答率 92.6%
 学習指導要領の領域 数と計算
 評価の観点 数学的な考え方
 問題形式 短答式

1

たかしさんは、買い物に行きました。

(1) 品物の代金は320円でした。
 たかしさんは、100円玉3枚がなかったので、500円玉を出しておつりをもらうことにしました。
 すると、店員さんから「あと20円ありますか。」とたずねられたので、たかしさんは、500円玉に加えて20円出しました。

どうしてあと20円出したほうがよいのかな。

500 10 10

たかし

おつりです。

出し方をくふうすると、おつりの硬貨の枚数が少なくなるんだ。

たかし

たかしさんがもらったおつりは、同じ種類の硬貨が2枚でした。
 下の6種類のうち、たかしさんがもらった硬貨はどれですか。答えを書きましょう。

硬貨の種類

① 1円玉 ② 5円玉 ③ 10円玉 ④ 50円玉 ⑤ 100円玉 ⑥ 500円玉

◆最も正答率の低い問題

設問番号 2 (2)
 奈良県正答率 24.7%
 全国正答率 26.8%
 学習指導要領の領域 数と計算、量と測定、数量関係
 評価の観点 数学的な考え方
 問題形式 記述式

(2) ゆかりさんたちは先生から、小型と中型のとび箱を、同じ高さにして準備するようにたのまれました。
 まず、みんながよく練習している小型のとび箱を5段にしました。そのときの高さは70cmでした。

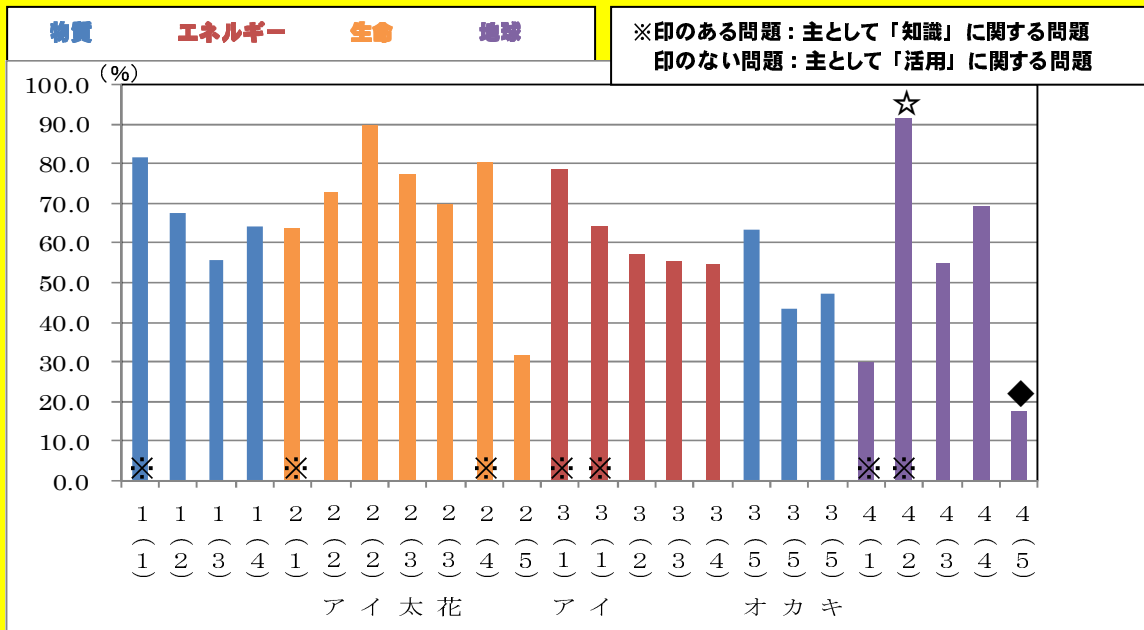
小型のとび箱 (5段)

次に、中型のとび箱を小型のとび箱と同じ70cmの高さにしようと思います。中型のとび箱を70cmの高さにすることはできますか。
 下の1と2から正しいほうを選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 中型のとび箱を70cmの高さにすることはできる。
 2 中型のとび箱を70cmの高さにすることはできない。

方法や理由を言葉や数を用いて記述する際、場面の状況や問題の条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述することに課題がある。支払い方の工夫を解釈し、おつりの金額を硬貨の種類と枚数に対応させることはおおむねできている。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 4 (2)
 奈良県正答率 91.4%
 全国正答率 89.8%
 学習指導要領の領域 地球
 評価の観点 自然現象についての知識・理解
 問題形式 短答式

◆最も正答率の低い問題

設問番号 4 (5)
 奈良県正答率 17.7%
 全国正答率 16.9%
 学習指導要領の領域 地球
 評価の観点 科学的な思考・表現
 問題形式 記述式

4 三郎さんは、5月20日の1日の太陽の位置と木のかげの動きや長さを調べました。下の3枚の図はその時のようすです。

午前9時 正午 午後1時

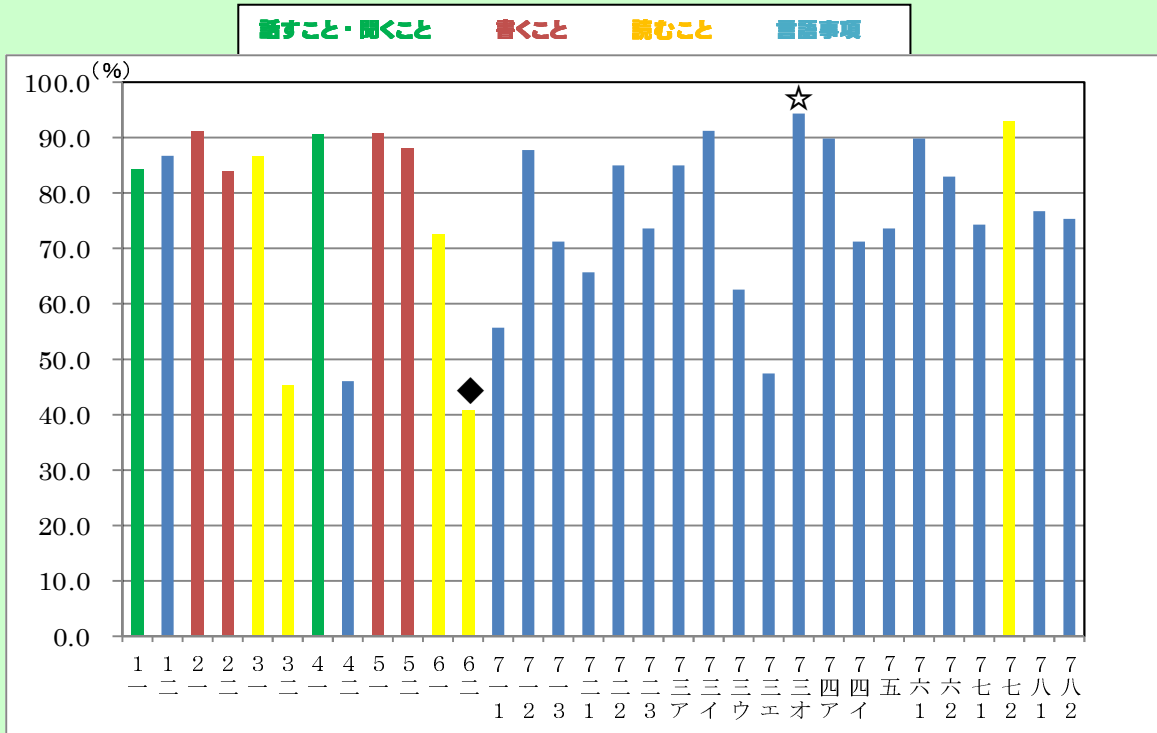
(1) 午後1時の太陽の方位を、正しく調べているのはどれですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その時の太陽の方位を書きましょう。

(2) (1)で使った方位を調べる道具の名前を書きましょう。

(5) 三郎さんは、同じ日に気温をはかりました。この日のかげのようすから1日の天気を考えて、気温の変化を表したグラフはどれですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。

方位磁針の名称についてはおおむね理解することができている。観察・実験の結果を整理し考察することに課題がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 7 三 オ
 奈良県正答率 94.5%
 全国正答率 93.5%
 学習指導要領の領域等 言語事項
 評価の観点 言語についての知識・理解・技能
 問題形式 選択式

三 次のアからオの文では、() の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

ア このカーテンの色は、部屋の雰囲気とよく(1)調合 (2)調和 (3)調律 (4)調整している。

イ 先生が、私の家に(1)参る (2)うかがう (3)おっしゃる (4)いらっしゃる。

ウ 弟子を手塚に(1)まいて (2)ひいて (3)かけて (4)にぎって)育てる。

エ (1)たてこもる (2)たちならぶ (3)たなびく (4)たたずむ)雲の間から、春の光がもれている。

オ (1)いかなる (2)たかなる (3)せつなる (4)たんなる)困難にもひるむことなく仕事を進めた。

◆最も正答率の低い問題

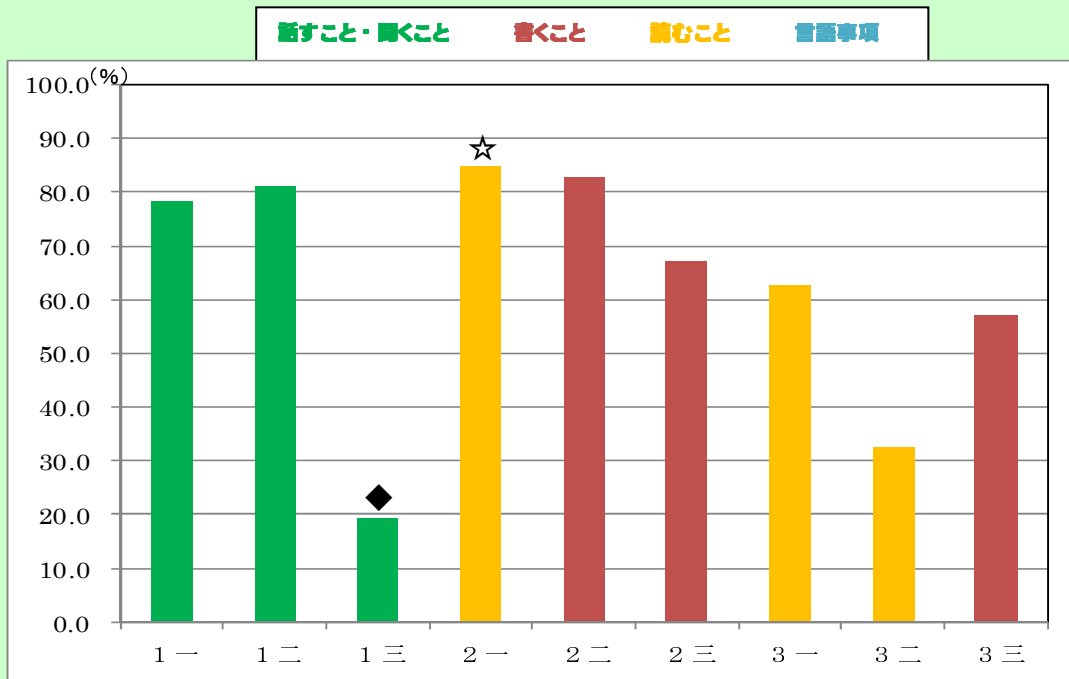
設問番号 6 二
 奈良県正答率 40.9%
 全国正答率 40.3%
 学習指導要領の領域等 読むこと
 評価の観点 読む能力
 問題形式 選択式

二 次の表は、衣服に付いている取り扱い表示の一つです。羊毛でできた衣服を本文の内容を踏まえて洗濯する場合、次の取り扱い表示の内容に加えて気を付ける必要はないことは何ですか。あとの1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

1 アルカリ性の洗剤で洗うこと。
 2 高温のお湯で洗うこと。
 3 中性洗剤で洗うこと。
 4 ぬるま湯で洗うこと。

目的に応じて必要な情報を読み取ることに課題がある。語句の意味を理解し文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 2 一
 奈良県正答率 84.9%
 全国正答率 84.3%
 学習指導要領の領域等

◆最も正答率の低い問題

設問番号 1 三
 奈良県正答率 19.3%
 全国正答率 19.7%
 学習指導要領の領域等

評価の観点 読むこと
 読む能力

評価の観点 話すこと・聞くこと、書くこと
 国語への関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力

問題形式
 短答式

一 「使用説明書の一部」の中に「線部「被写体」とありますが、
 【祖母向けの説明書の下書き】では「被写体」のことを別の言葉で表現しています。その言葉を【祖母向けの説明書の下書き】の中から探し、抜き出してください。

問題形式
 記述式

三 この対談を読んで、あなたは、これからのような言葉の使い方をしたいと考えますか。次の条件1から条件3にたがって、あなたの考えを具体的に書きなさい。

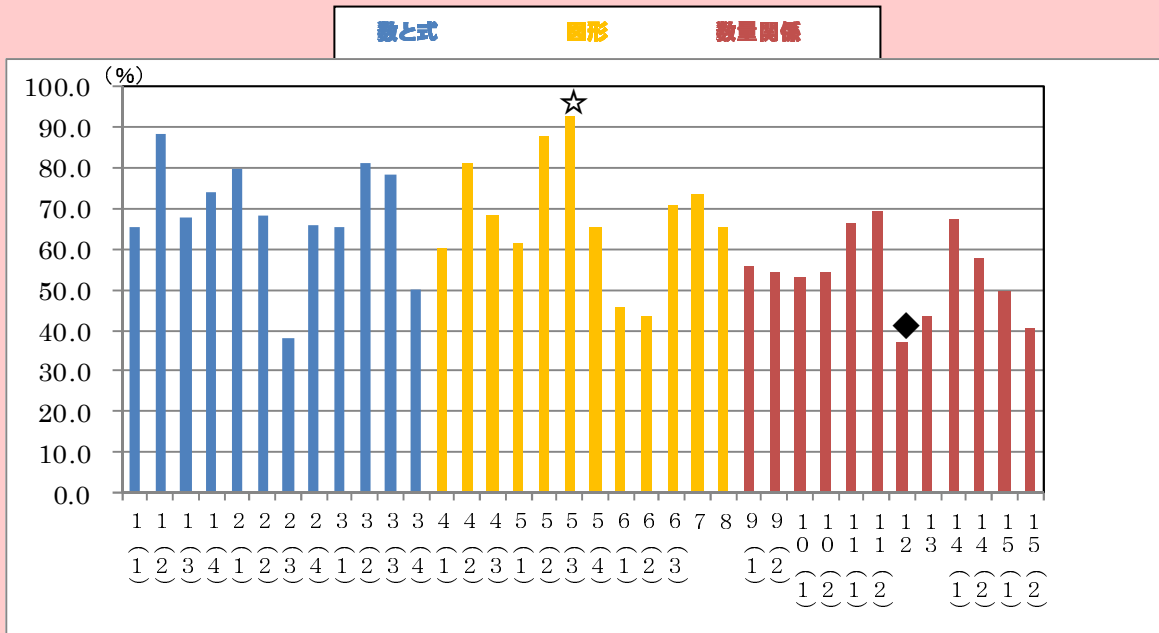
なお、読み返して文章を直したいときは、二筆線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 対談での大岡さん、柚さんのいずれかの発言の内容を取り上げ、書くこと。
 条件2 これから使っていきたい言葉の例を挙げて書くこと。
 条件3 八十文字以上、百二十文字以内で書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

文脈の中における語句の意味を的確にとらえることはおおむねできている。相手の発言を注意して聞き、自分の考えを具体的に書くことに課題がある。記述式の設問については正答率がやや低く無解答率も高くなる傾向がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 5(3)
 奈良県正答率 92.5%
 全国正答率 92.8%
 学習指導要領の領域 図形

評価の観点 数量、図形などについての知識・理解

問題形式 選択式

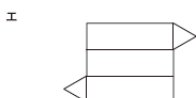
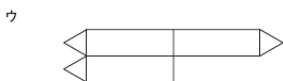
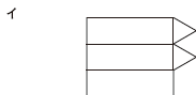
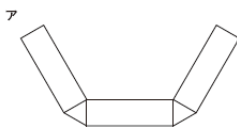
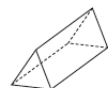
◆最も正答率の低い問題

設問番号 1(2)
 奈良県正答率 37.0%
 全国正答率 37.9%
 学習指導要領の領域 数量関係

評価の観点 数量、図形などについての知識・理解

問題形式 選択式

(3) 右の図のような立体があります。折り曲げて組み立てると、この立体になるものが、下のアからエまでの中にあります。正しいものを1つ選びなさい。

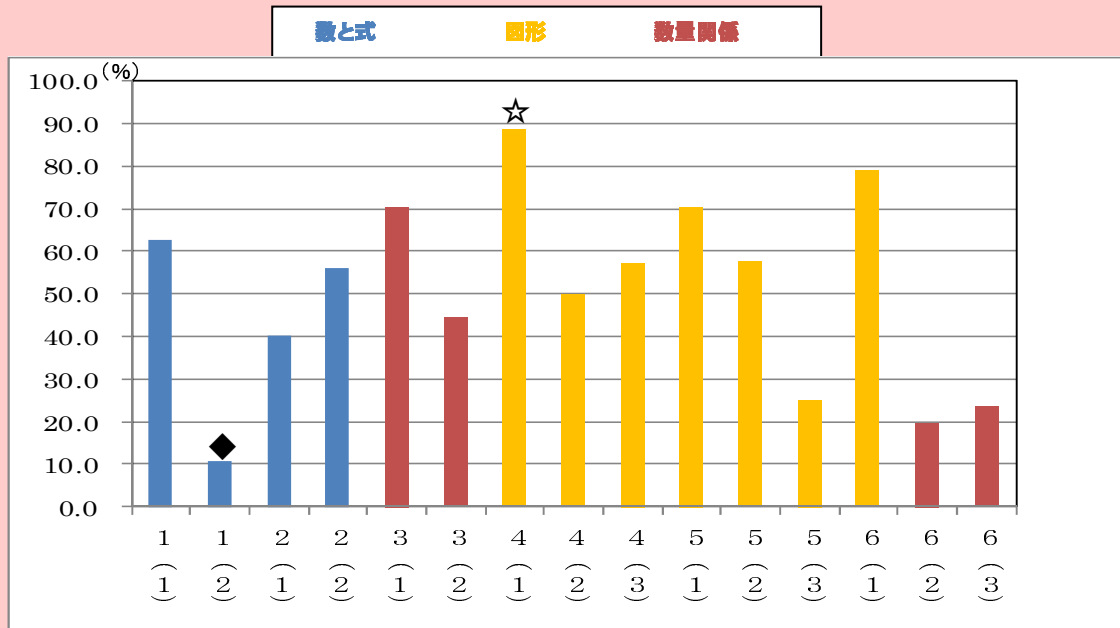


[12] 下のアからオまでの中に、 y が x の一次関数であるものがあります。正しいものを1つ選びなさい。

- ア 面積が 60 cm^2 の長方形で、縦の長さが $x\text{ cm}$ のときの横の長さ $y\text{ cm}$
- イ 1500 m の道のりを $x\text{ m}$ 歩いたときの残りの道のり $y\text{ m}$
- ウ 身長 $x\text{ cm}$ の人の体重 $y\text{ kg}$
- エ 6 m のリボンを x 人で同じ長さに分けるときの1人分の長さ $y\text{ m}$
- オ ある地点での午後 x 時の気温 $y\text{ }^\circ\text{C}$

「数量関係」の領域の設問に対する正答率が低い。特に、具体的な事象における2つの数量の関係には、一次関数として捉えられるものがあることへの理解に課題がある。三角柱の展開図等についてはおおむね理解できている。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



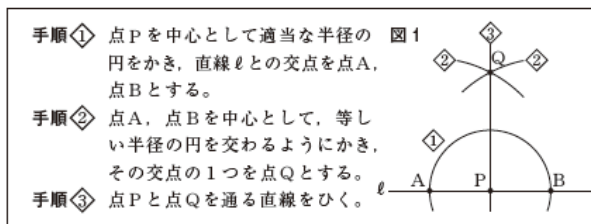
☆最も正答率の高い問題

設問番号 4 (1)
 奈良県正答率 88.8%
 全国正答率 89.0%
 学習指導要領の領域 図形
 評価の観点 数量、図形などについての知識・理解
 問題形式 短答式

◆最も正答率の低い問題

設問番号 1 (2)
 奈良県正答率 10.6%
 全国正答率 9.9%
 学習指導要領の領域 数と式
 評価の観点 数学的な見方や考え方
 問題形式 記述式

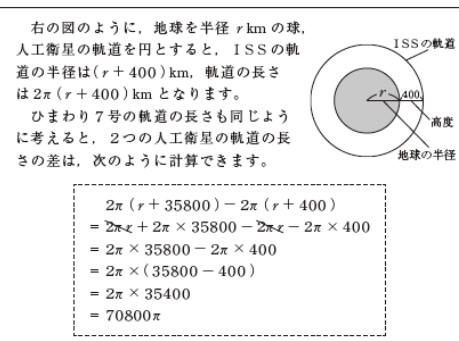
4 直線 ℓ 上の点Pを通る ℓ の垂線は、下の手順①、②、③で、図1のように作図することができます。



次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 図1の点Q、A、P、Bを順に結ぶと、 $\triangle QAB$ ができます。この $\triangle QAB$ を紙にかいて直線PQを折り目として折ったとき、点Aが重なるのはどの点ですか。その点の記号を書きなさい。

(2) 人工衛星が地球の周りを通る道すじのことを軌道といいます。ISSとひまわり7号が地球を1周するときの軌道の長さの差は、次のように求めることができます。



このように、2つの人工衛星の軌道の長さの差は約70800 π km であることが分かります。

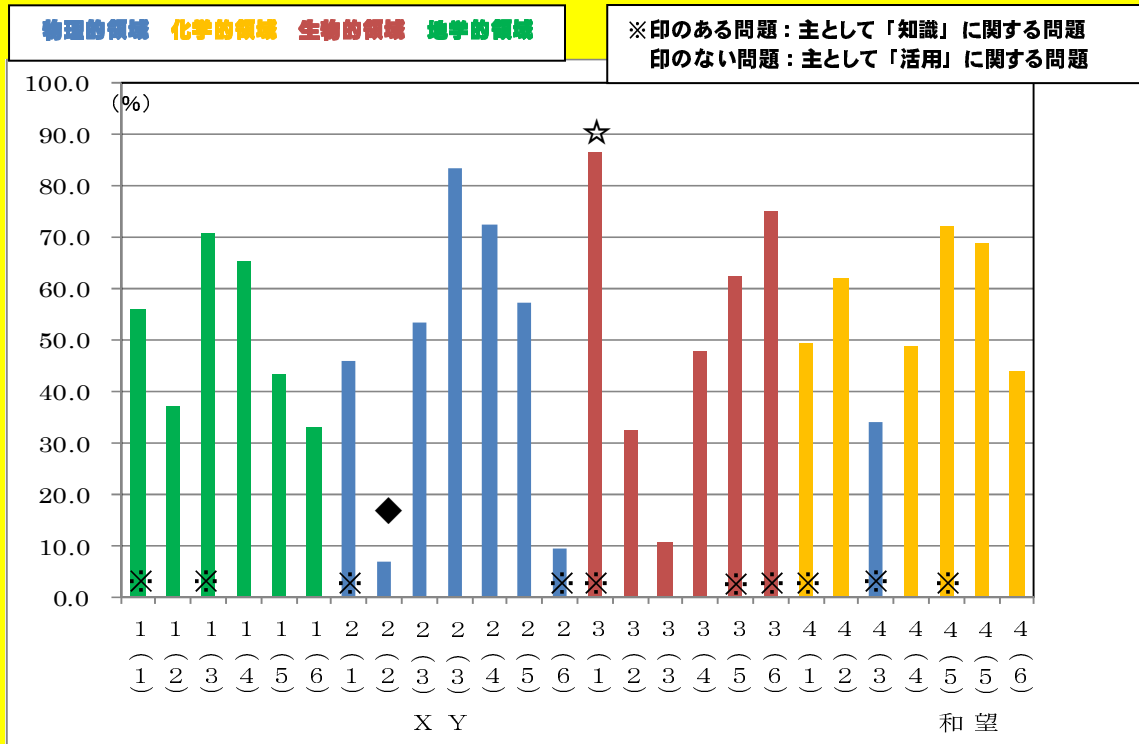
上の [] からは、この軌道の長さの差について、さらに分かることがあります。下のア、イの中から正しいものを1つ選びなさい。また、それが正しいこと理由を説明しなさい。

ア 軌道の長さの差は、地球の半径の値によって決まる。

イ 軌道の長さの差は、地球の半径の値に関係なく決まる。

数学的に記述したり、説明したりする問題では、いずれも正答率が低い。数学的な結果を事象に即して解釈することを通して、成り立つ事柄を判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 3(1)
 奈良県正答率 86.7%
 全国正答率 86.9%
 学習指導要領の領域

地学的領域

評価の観点 観察・実験の技能

問題形式 選択式

◆最も正答率の低い問題

設問番号 2(2)
 奈良県正答率 6.9%
 全国正答率 7.6%
 学習指導要領の領域

物理的領域

評価の観点 科学的な思考・表現

問題形式 記述式

3 地学部の彩さんと賢さんは、中学校の近くで見られる地層に関心をもったので、博物館の地層観察会に参加しました。次の(1)から(6)の各問いに答えなさい。

観察 1 博物館の先生から、地層を観察するときの留意点について、次のような説明がありました。

はじめに、地層のつながりや広がりなど露頭全体のようすを観察します。その際、地層がずれてくいちがった **A** があるかないかなどに注意します。

次に、安全に注意しながら露頭に近づいて、地層を構成しているれきや砂などの粒の大きさや **B** などを調べます。その際、化石の有無を確認します。さらに、地層の厚さや重なり方などを詳しく観察します。

(1) 上の説明の中の **A**、**B** に入る適切なものを、それぞれ下のア、イから1つ選びなさい。

A	ア しゅう曲	イ 断層
B	ア 形	イ 数

レポート2 続いて昌夫さんは、図1の豆電球を発光ダイオードに交換して、実験1と同様に実験2を行いました。次は、そのレポートの一部です。

実験2
【方法】 図3の回路で実験を行う。
 ※ 発光ダイオードの足の長い方を+につなぎ、短い方を-につなぐ。
【結果】
 ① 電圧が0.4V、1.2Vのときは光らなかった。
 ② 電圧が2.0Vのときは、明るく光り、そのときの電流の大きさは20mAであった。

実験を終えて、昌夫さんは先生と話をして考察しました。

考察1
 先生：昌夫さんは、実験1、2を別々に行い、その結果をまとめたんですね。ところで、家庭では、いろいろな電気器具を同時に使いますね。家庭の回路のように、豆電球と発光ダイオードを1つの回路で同時に使用しても測定できますね。このように、1つの回路で、実験1、2と同じ結果を得るためには、どのような回路をつくって測定すればよいですか。
 昌夫：豆電球と発光ダイオードに同じ電流を流すために、それらを直列につないで測定すればよいと思います。

(2) 先生の問いかけに対する昌夫さんの考えには、誤りがあります。実験1、2と同じ結果を得るために、下線部を正しく書き直さない。

抵抗の直列つなぎ、並列つなぎなどに関する知識を活用して、他者の実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明することに課題がある。

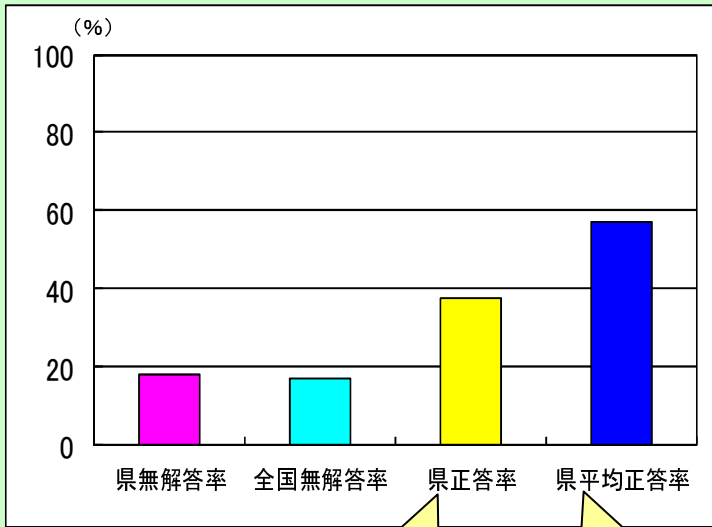
本県の子どもが何も書けなかった問題

無解答率が高いもの

小学校国語B 学習指導要領の領域等 書くこと、読むこと

3四 二つの記事に書かれている内容を結び付けながら読み、理由となる事実を基にして自分の考えを記述する

無解答率 奈良県 18.2% 全国 17.0%



この設問の正答率

小学校国語B
全設問の平均正答率

四 金子さんは、日本の女子選手と男子選手のそれぞれについて考えたことをまとめています。「金子さんがまとめた内容」の中からは、どのような内容を書くとよいですか。あとの条件に合わせてください。

【金子さんがまとめた内容】

日本の女子選手は、世界的に活やくしてき
たと考えられます。そのように考えた理由は、

日本の男子選手は、

（条件）

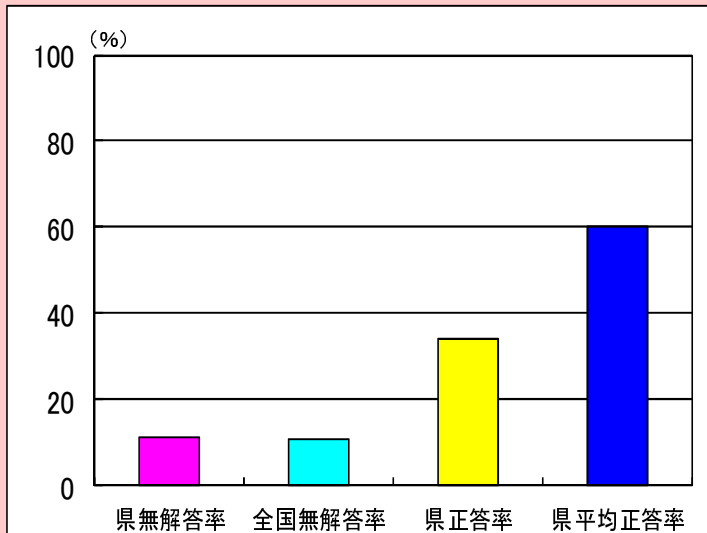
○「マラソンの世界記録上位5人」と「日本人選手の記録」の二つの記事を読みながら読み、金子さんの考えの理由となる事実を、両方から取り出し、まとめて書くこと。

○「このように考えた理由は、」に続くように、四十文字以上、六十文字以内にまとめて書くこと。

小学校算数B 学習指導要領の領域 数と計算、量と測定

4(3) はかりの目盛りと1人分の材料の分量を基に、班の人数分のご飯を作るために必要な水の重さの求め方と答えを書く

無解答率 奈良県 11.0% 全国 10.9%



この設問の正答率

小学校算数B
全設問の平均正答率

(3) 調理実習の時間になりました。ごはんを作るときに1人分の材料と分量は次のとおりです。

1人分の材料と分量

米・・・80g
水・・・120g
(水は米の重さの1.5倍です。)

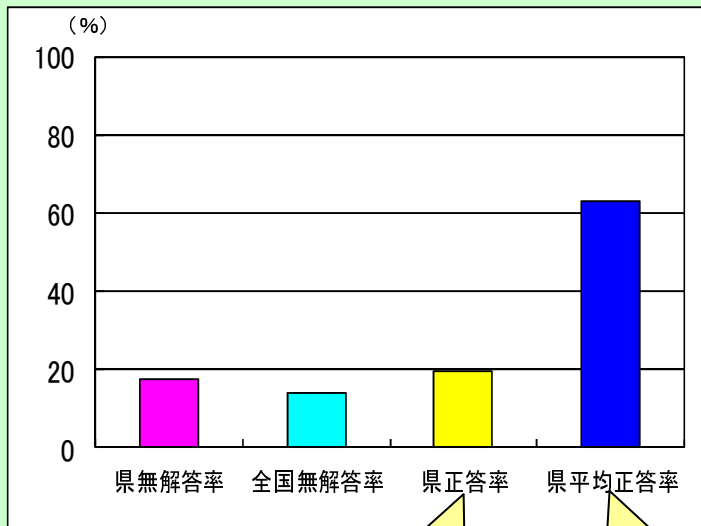
ひろしさんは、班で使う米の重さをはかります。最初に容器だけをはかりにのせたら、はかりの目もりは図アになりました。次に米を入れると、はかりの目もりは図イになりました。

図ア 図イ

中学校国語B 学習指導要領の領域等 話すこと・聞くこと、書くこと

1三 これからのどのような言葉の使い方をしたいかを具体的な言葉の例を挙げて書く

無解答率 奈良県 17.6% 全国 13.9%



この設問の正答率

中学校国語B
全設問の平均正答率

三 この対談を読んで、あなただけ、これからのどのような言葉の使い方をしてほしいと思えますか。次の条件1から条件3の中から一つ、あなたの考えを具体的に書きます。

条件1 対談での太田さん、榊さんのいずれかの発言の内容を取り上げて書くこと。

条件2 これから使っていきたい言葉の例を挙げて書くこと。

条件3 八十字以上、二百五十字以内で書くこと。

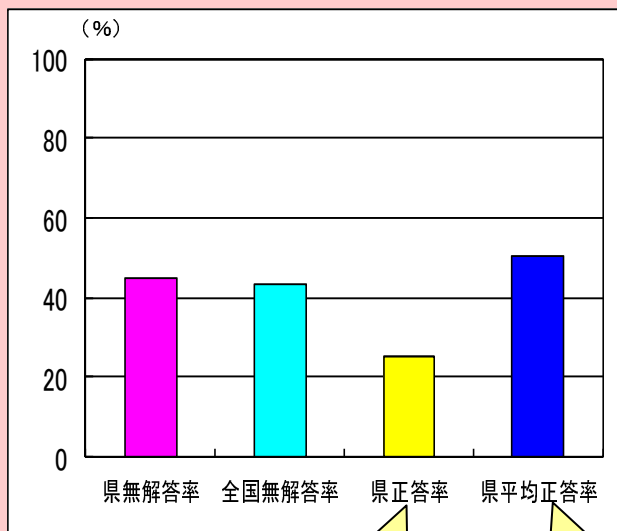
※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

三 解答欄に記入してください。記入欄は縦書きで書きます。

中学校数学B 学習指導要領の領域 図形

5(3) AEの長さを求められるようにするための方法を説明する

無解答率 奈良県 44.7% 全国 43.5%



この設問の正答率

中学校数学B
全設問の平均正答率

(3) 木の高さの求め方では、CEの長さを直接測る代わりに、次のような方法を用いて、CEの長さを求められるようにしています。

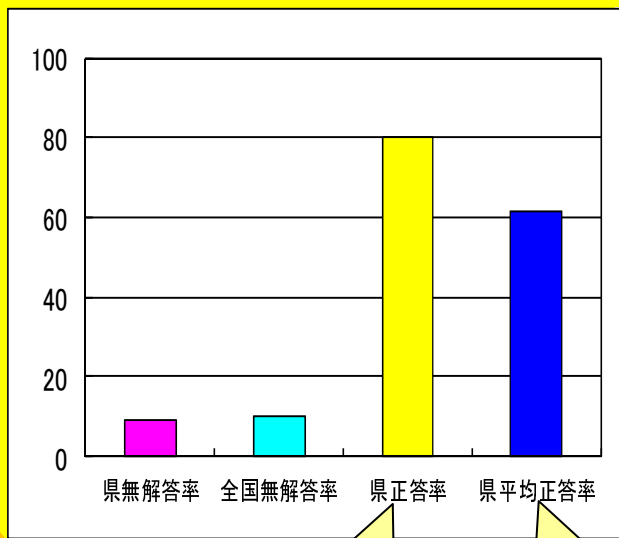
長方形の性質を用いて、CEの長さをDBの長さに置き換える。

AEについてもその長さを直接測る代わりに、手順◇で△ACEの∠ACEを45°にすることによって、AEの長さを求められるようにしています。その方法を、上の□のように説明しなさい。

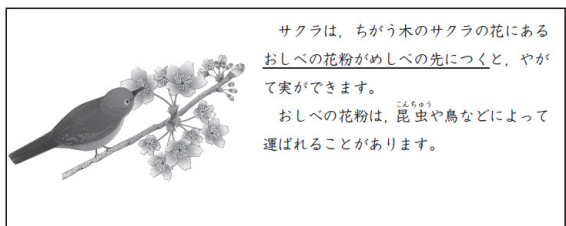
小学校理科 学習指導要領の領域 生命

2(4) 「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書く

無解答率 奈良県 9.2% 全国 10.2%



(4) 太郎さんは、サクラの実のでき方に興味をもち、本で調べると、下のよう
な説明がのっていました。



「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書きましょう。

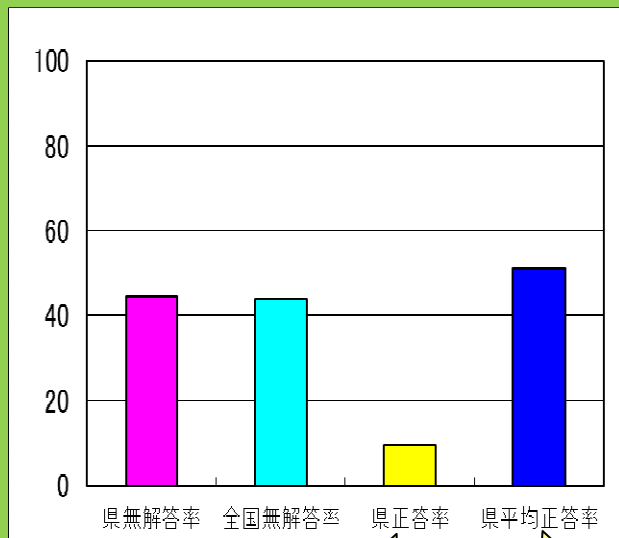
この設問の
正答率

小学校理科
全設問の平均
正答率

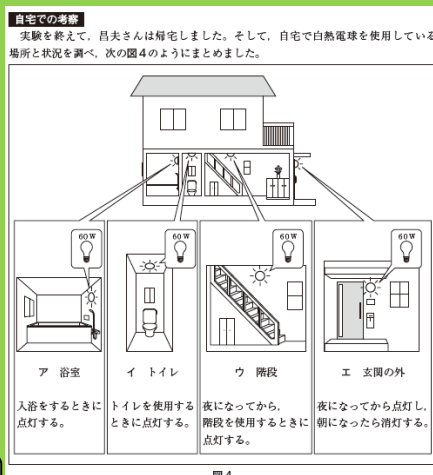
中学校理科 学習指導要領の領域 物理的領域

2(6) 白熱電球とLED電球を、それぞれ1時間使用する場合に、消費する電力量の差を求める式を書き、電力量の差を求める

無解答率 奈良県 44.6% 全国 41.1%



(6) 昌夫さんは、60Wの白熱電球と9WのLED電球を、それぞれ1時間使用する場合に消費する電力量の差を求めることにしました。これらの電力量の差は何kJですか。式と答えを書きなさい。ただし、 $1000\text{ J} = 1\text{ kJ}$ です。



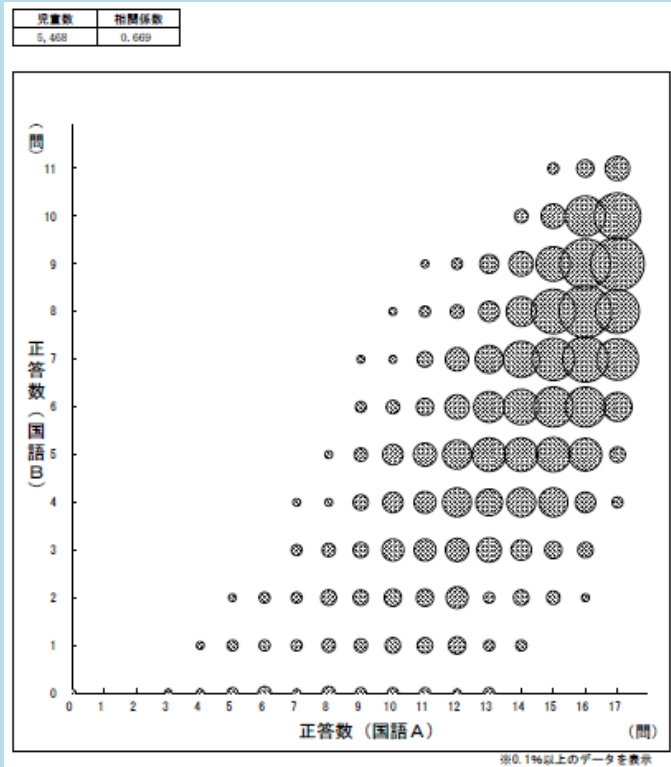
この設問の
正答率

中学校理科
全設問の平均
正答率

教科内の相関（バブルチャートによる分析）

【国語】 活用の力が身に付いている児童生徒は知識の定着も高い！

小学校 正答数（国語 A）×正答数（国語 B）

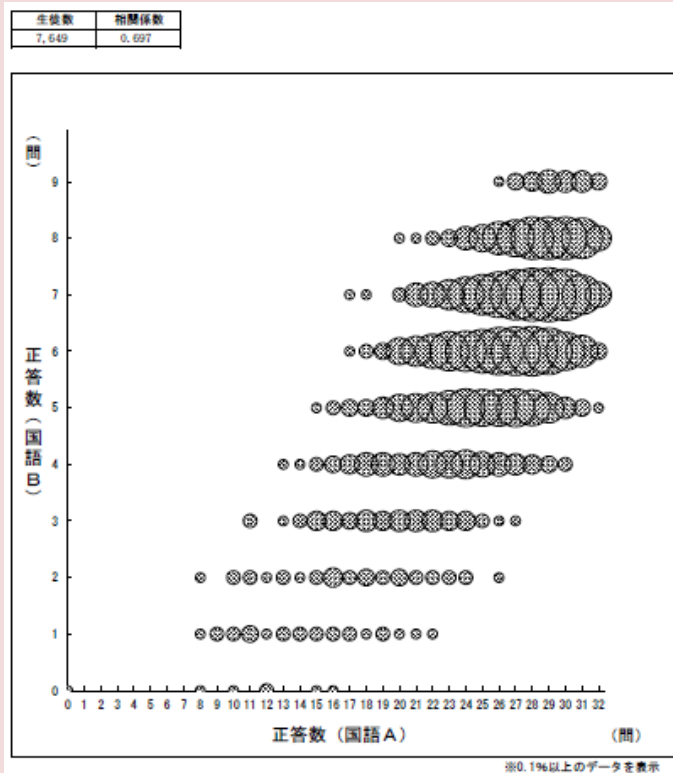


○小学校、中学校のいずれにおいても、活用に関する問題（問題B）の正答数が多い児童生徒は、知識に関する問題（問題A）の正答数も多い。

○小学校、中学校のいずれにおいても知識に関する問題（問題A）の正答数が多い児童生徒は、活用に関する問題（問題B）の正答数において広く分布している。

○平成 24年度も平成 22年度と同様の傾向が見られる。

中学校 正答数（国語 A）×正答数（国語 B）

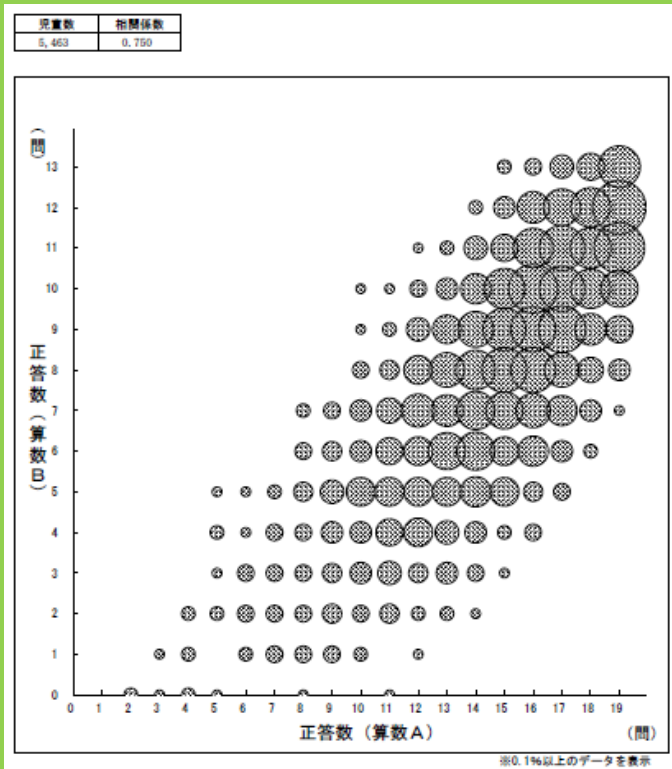


バブルチャートによるグラフ

2軸の座標上（正答数）に、大きさが3軸目（児童生徒数）の指標を示す円状の図（バブル）を配置した図

【算数・数学】特に中学校において問題Aと問題Bの相関が強い！

小学校 正答数（算数A）×正答数（算数B）

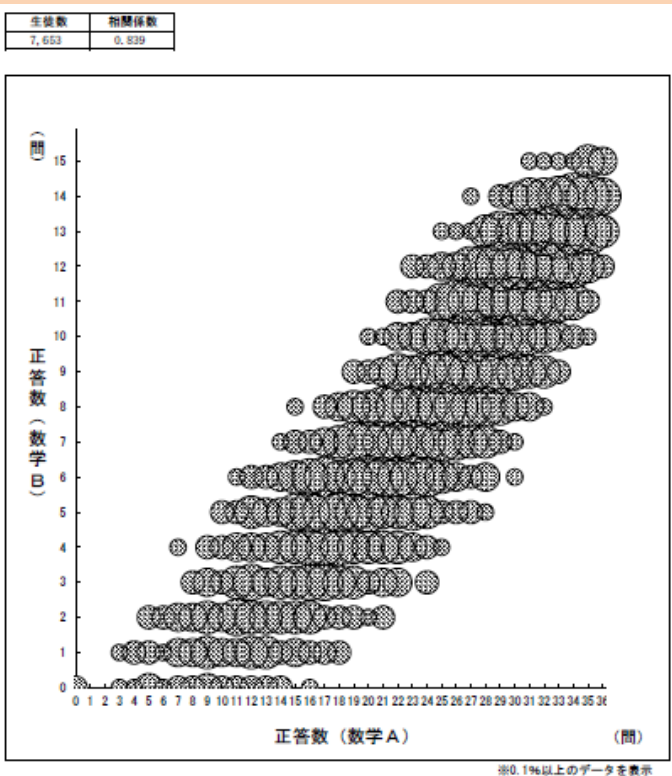


○小学校、中学校のいずれにおいても、知識に関する問題（問題A）の正答数と活用に関する問題（問題B）の正答数の相関が強い。特に中学校で強い。

○小学校、中学校のいずれにおいても、活用に関する問題（問題B）の正答数が多い児童生徒は、知識に関する問題（問題A）の正答数も多い。

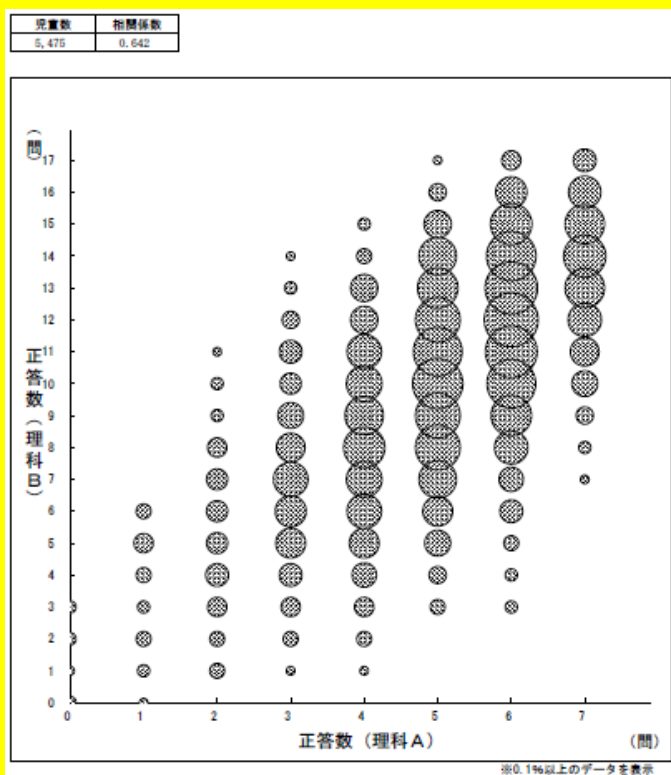
○平成 24年度も平成 22年度と同様の傾向が見られる。

中学校 正答数（数学A）×正答数（数学B）



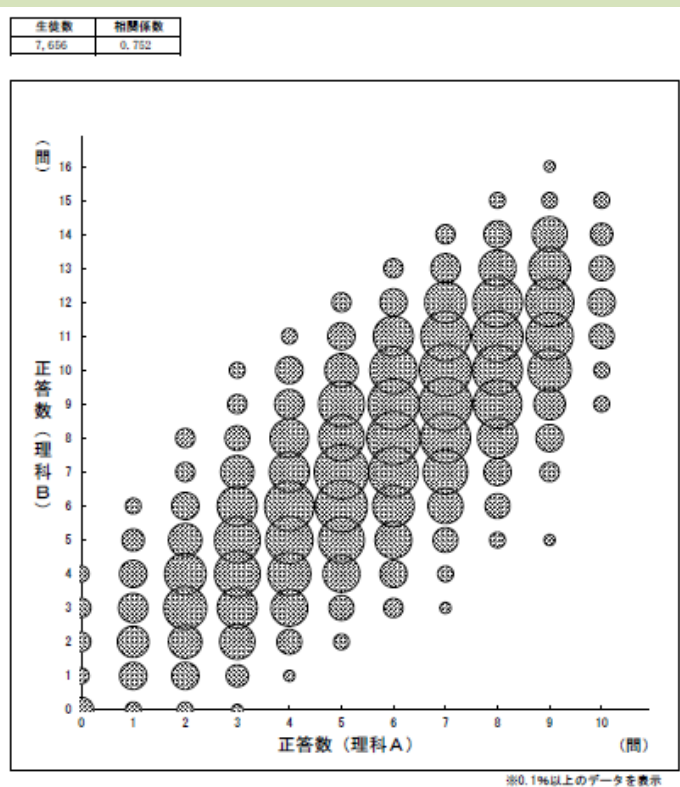
【理科】身に付けた知識を活用する力が必要！

小学校 正答数（理科A）×正答数（理科B）



- 小学校、中学校のいずれにおいても知識に関する問題（問題A）の正答数において、活用に関する問題（問題B）の正答数が広く分布している。
- 知識を身に付けていてもそれを活用する力が付いていない児童生徒が多い。

中学校 正答数（理科A）×正答数（理科B）

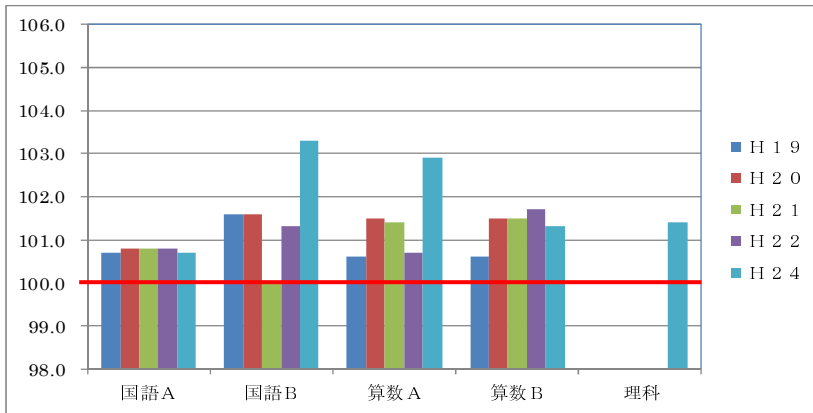


- ※理科A・・・主として「知識」に関する問題
- 理科B・・・主として「活用」に関する問題

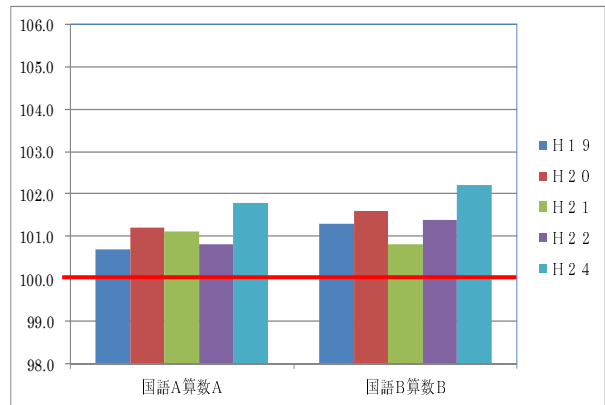
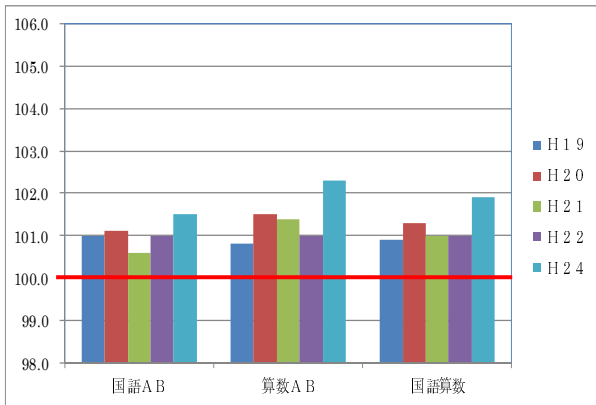
5年間の各教科の平均正答率の推移

○全国平均正答率を100としたときの本県平均正答率の推移

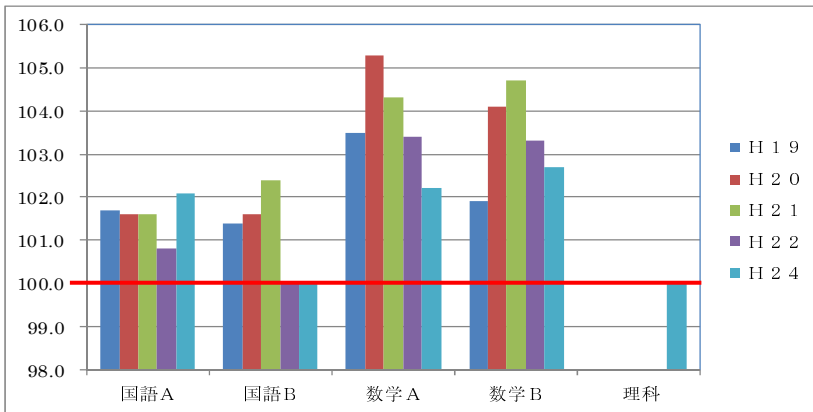
【小学校】



○全ての教科の平均正答率が全国平均正答率以上である。
○平成24年度は国語A、算数B以外は、平成22年度の全国平均正答率との差が広がっている。



【中学校】



○全ての教科の平均正答率が全国平均正答率以上である。
○平成24年度は国語B、数学A、数学Bで平成22年度の全国平均正答率との差が縮まっている。

